様邸

株式会社ジーエーシーサポート

ジャパンホームシールド株式会社

はじめに

本報告書は、建物の適切な基礎計画を行うために設計の補助として資料のご提供をするものです。

お客様がいつまでも安心した住生活を送っていただけますことを心より祈念いたします。

本報告書を作成するにあたり、ご協力いただきました関係各位には厚く御礼申し上げます。

物件名称	**様邸**
物件所在地	**東京都板橋区**
調査日	**2015年**
依頼会社名	**株式会社ジーエーシーサポート**

JAPAN HOME SHIELD
ジャパン ホームシールド 株式会社
〒130-0026 東京都墨田区両国 2-10-14 両国シティコア 17F
TEL.03-5624-1545　FAX.03-5624-1544
一級建築士事務所　東京都知事登録第57395号

解 析 検 討 結 果　【SDS 試験】

物 件 番 号 ： **D2015030024**　　作成日 **2015年03月10日**

依頼会社名 ： **株式会社ジーエーシーサポート**

物 件 名 称 ： **様邸**

建物の構造・階層 ： **木造 3階**　　基礎の種類 ： **ベタ基礎**　　基礎の設計地耐力 ： **30.0kN/㎡**

解析検討結果

判定			特記事項
直接基礎	布基礎		
	ベタ基礎		
	その他基礎形式		
	土の置換え工事		
地盤改良工事	表層地盤改良工法		
	ピュアパイル工法		
	柱状改良工法	○	調査測点No.2の調査GLから-2.50mを改良体先端とします。（圧密検討不要）
	小口径鋼管工法		
	その他の工法 **その他特殊工法**	○	特殊改良工法は工法の適用及び工事設計仕様をＪＨＳにて確認致します。尚、現場状況及び設計確認後に工法採用できない場合があります。
その他			

考察

調査地は、自然堤防に位置する駐車場です。調査の結果、土質については、SDS調査より、GL-0.50m付近まで表土、以深より粘性土と砂質土の互層と識別されます。SWS調査では、自沈で推移する軟らかい層が確認されます。地盤の長期許容応力度が基礎の設計地耐力を下回っており、敷地内の地盤の耐力不足が懸念され、不同沈下を引き起こす可能性が高い地盤状態であると推察されます。よって、沈下対策として地盤補強を実施し、計画基礎の長期的な安定性を確保する必要があると考察致します。
※建築確認検査機関・行政から指示があった場合はその指示に従ってください。

＊本検討結果は、ご提供いただいた情報に基づいて行った検討結果であり、この検討結果により設計及び施工されたものに責任を持つものではありません。

＊以下の条件が発生した場合は、上記検討結果と異なる判断となる可能性があります。

・再度行った地盤調査を行った結果が、本調査結果と著しく異なる場合
・調査地の造成を実施する場合（擁壁・土留等の築造、掘削・埋戻し、切・盛土造成等の人工改変を実施する場合）
・上に示した計画建物の構造、階層、基礎の種類とは異なる場合。
・解析時の建物配置が 50cm を越えて移動した場合。
・その他、調査報告書と異なる条件が発生した場合
・再調査により新たな事象が判明した場合

土質がわかる新しい地盤調査。
SDS
Analyzed by JHS

ジャパン ホームシールド 株式会社
〒130-0026 東京都墨田区両国2-10-14
両国シティコア17F
TEL.03-5624-1547　FAX.03-5624-1544
解析担当者

施工に関する情報

調査敷地の情報

試験時の障害感 注1)	(無)	有	不明	
地下埋設物 注2)	(無)	有	不明	井戸　防空壕　樹根　瓦礫　水道管・ガス管・下水管 坑道　その他（　　）
近接擁壁 注3)	無	(有)	不明	計画配置からの離隔が　2m 未満　(2m 以上)
擁壁底版 注4)	(無)	有	不明	計画配置下に　重なる　重ならない
地下水 注5)	無	(有)	不明	SDS孔にてGL-0.99mで確認
湧水箇所 注5)	(無)	有	不明	
搬入車両 注6)	1t 車　2t 車　3t 車　4t 車　(12t 車)　不可　手運搬（　　）m			
敷地内搬入車両 注6)	1t 車　2t 車　3t 車　4t 車　(12t 車)　不可　手運搬			
搬入障害 注6)	(無)	有	不明	ブロック塀　万年塀　板塀　大谷塀　生塀　門柱　法 カーポート　擁壁　その他（　　）
高低差 注6)	道路面より　0　m			
架空線等の障害 注6)	無	(有)	不明	
境界杭	無	(有)	不明	

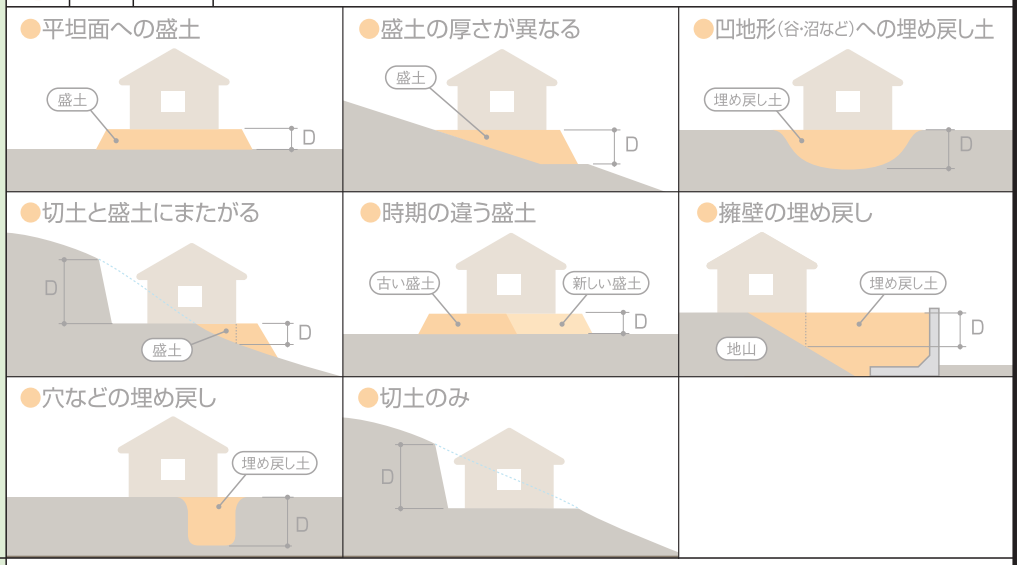
⚠ 注意事項 設計及び施工に関する注意事項（✓のついた項目が当物件に該当する注意事項です）

☐	固化不良	セメント系固化材を使用した地盤補強工法を選択する場合、固化不良の発生が懸念される土が存在する可能性があります。事前に配合試験を行うか、または施工前の土質及びpHを確認し、固化材の種類や添加量などの検討を行う必要があります。
☑	地中障害 注1)	基礎工事や地盤補強工事施工中に地中障害物等が確認された場合には、障害物を撤去の上、埋戻し土に良質土（砕石等）を用い、転圧不足とならぬ様に入念な締め固めをお願い致します。また、撤去時の掘削深度が基礎下から1m程度を超える場合は再調査・再検討が必要となる可能性があります。
☐	空洞 注2)	地中に防空壕や坑道跡などと思われる空隙が確認された場合、設計・施工検討が必要となります。
☐	擁壁土圧 注3)	施工位置と擁壁などが近接している場合、オーガー等の掘削の際に側方土圧の影響で擁壁に亀裂、目地の開口等変状が発生する可能性があるため、施工時には注意が必要です。
☐	擁壁底版 注4)	建物と擁壁の底版の位置が干渉している場合、偏芯による対応が必要となる可能性があるため、基礎構造の安全性に関する検討が必要です。
☑	近接構造物	境界ブロック等の近隣構造物が近い為、偏芯、基礎補強等の設計・施工検討等が必要となる可能性があります。
☑	地下水 注5)	地下水位が高いもしくは地下水量が多いなどの理由により、地業補強やセメント系固化材を利用した補強の場合、地下水の排出や添加量の増量が必要な場合があります。
☑	資機材搬入 注6)	狭小搬入路や敷地高低差、架空線等により資機材の搬入に支障をきたす場合があります。 施工前に現地を確認の上、施工機や資機材の選定、もしくは前述提案以外の地盤補強となる可能性があります。
☐	部分的な盛土や埋め戻し	新規擁壁の築造や法面の埋め戻しをする際、埋め戻し部分が基礎下にあたる箇所は、埋め戻し材に良質土を用いるか、固化材を添加（固化材添加50kg/m³以上、ただし土質、含水状況により固化材添加量を決定下さい）して、30cm以下の撒き出し厚で入念に締め固めて下さい。(厚さ1.5m以内)
☑	調査後の切盛土	調査後に、切土や盛土を行いますと解析結果が変更となる可能性がありますので、その場合には必ずお知らせください。
☐	砕石地業	基礎下の砕石地業時の締め固めを、タンピングランマーまたは振動ローラーにて３回突き程度実施して下さい。

資料　調査地チェックシート

調査宅地の状況

切土・盛土・ 埋め戻し土の状況	(無)	有	不明	切土（D=　　）m　盛土・埋め戻し土（D=　　）m ※盛土厚さ(D)は、建物下に存在する最大厚さの数値を示します。(数値は推定値となります)



※盛土・埋め戻し土の状態や厚さ・経過年数については、資料と現地の状況から推定したものです。

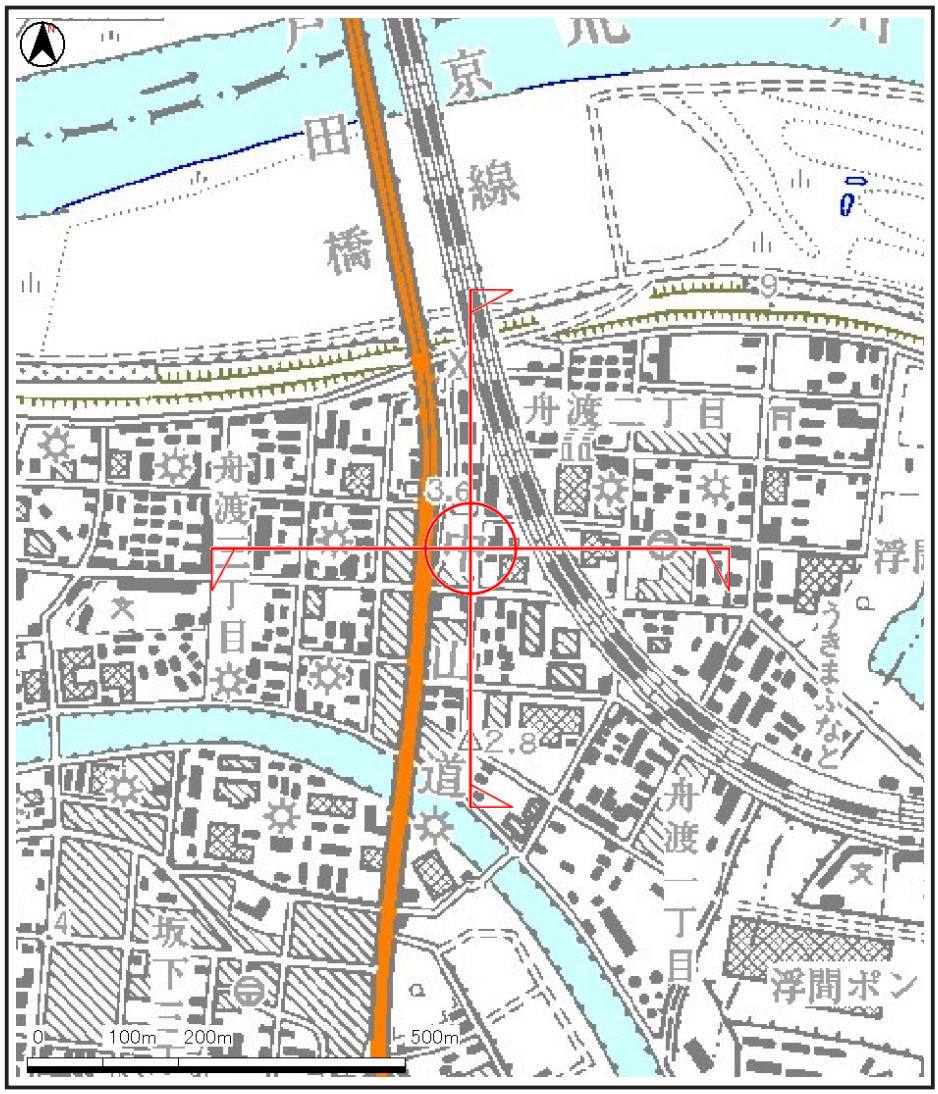
造成経過年数	不明	1年未満	1～3年	3～5年　5～10年　10年以上
既存建物	(無)	有	木造　鉄骨造　RC造　その他（　　）	（　　）階
			築後（　　）年　不明	異常　沈下　亀裂　その他（　　）
地表面の土質	砂・礫質土　粘性土　ローム　岩盤　その他（　　）			[不明]
地表面の状態	[平坦]　波打っている　傾斜している　段差がある			
	乾いている　湿っている　ぬかるんでいる　凍っている　積雪 草木が茂っている　水たまりがある　耕作中　その他([アスファルト敷き]　)			

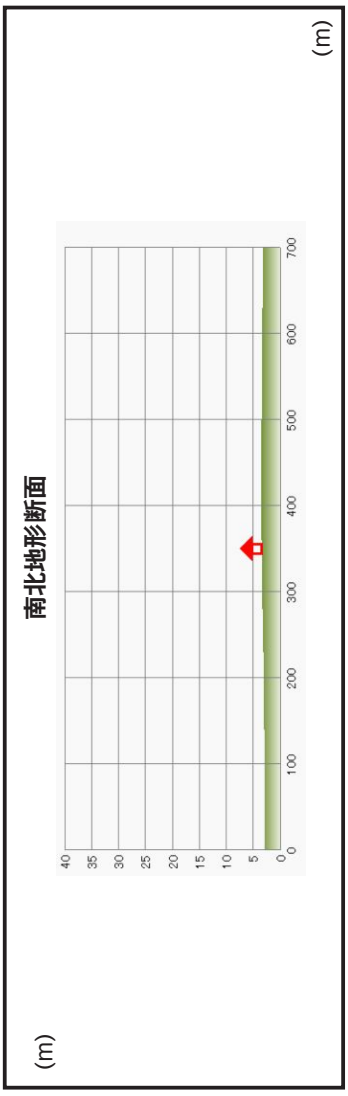
周辺の状況

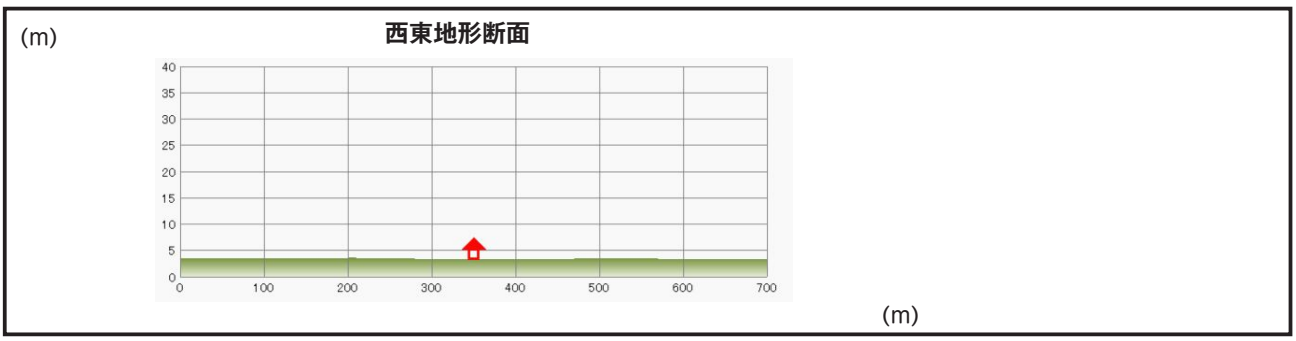
近隣家屋の変状	無	[有]	部位	基礎　[外壁]　建物全体　その他（　　）
			築年数	5年以内　5～15年　[15年以上]　不明
			状況	[亀裂]　[傾き]　その他（　　）
近隣構造物の変状	無	[有]	種別	擁壁　[塀・境界ブロック]　[電柱]　水路・側溝 その他（　　）
			設置後経過年数	5年以内　[5年以上]　不明
			状況	[亀裂]　[傾き]　たわみ　その他（　　）
道路	状況		[舗装]　未舗装	
	変状		無　(有)　[亀裂]　波打ち　陥没　その他（　　）	

資料　調査地の地形

地形図





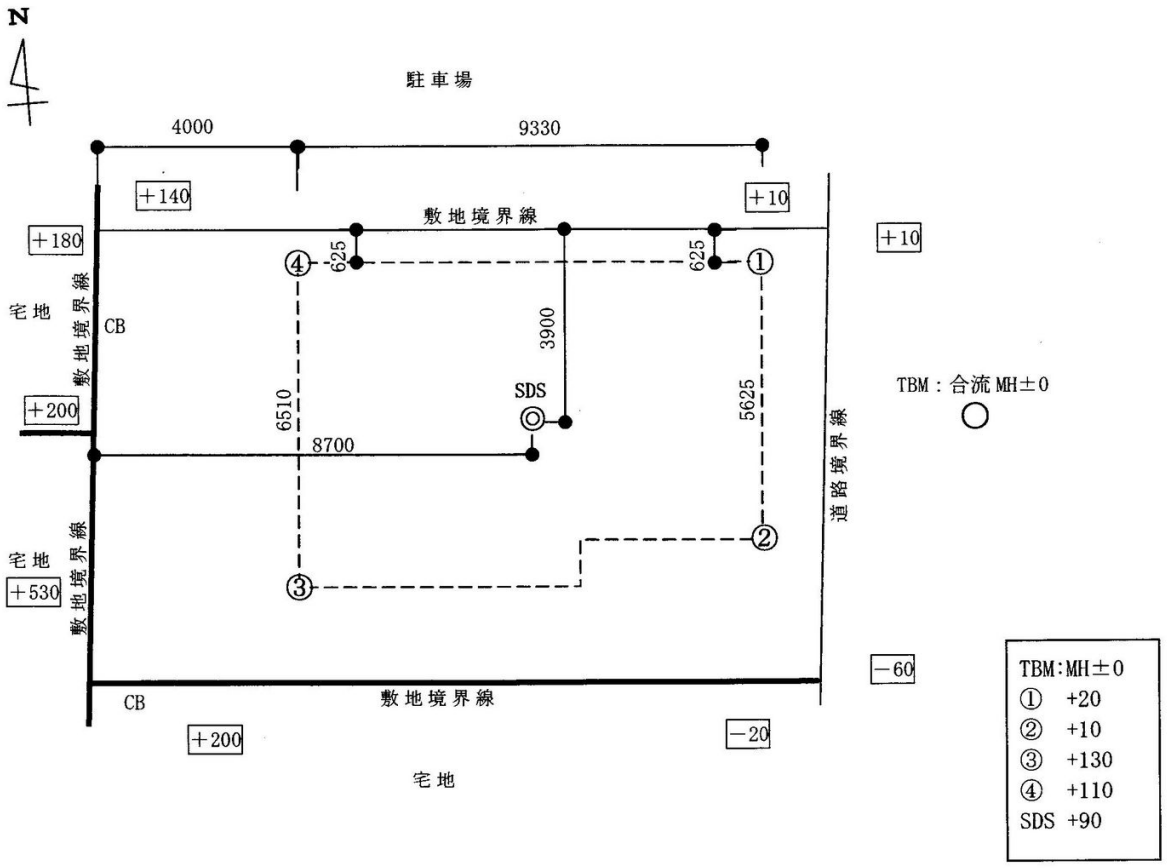


地形区分

山・丘陵地	段丘・台地	崖錐	扇状地	自然堤防
海岸砂州・砂丘	後背湿地	谷底低地	旧河道	三角州
堤間湿地	埋立地	潟湖跡(干拓地)	その他（　　）	

資料　調査敷地状況図

物件名称　　様邸



方向	土地利用状況	高低差	擁壁	法面	建物	変状の有無
東側	道路	-0.2～-0.1 m				●
南側	宅地	-0.1～+0.1 m			●	●
西側	宅地	+0.1～+0.4 m	●		●	●
北側	駐車場	-0.1～±0 m				

敷地内高低差	(無)　有　(　　)m

資料 試験結果

スウェーデン式サウンディング試験

物件名称	様邸				
調査場所	東京都板橋区				
測点番号	1	調査年月日	2015年		
高低差	TBM +0.02 m	最終貫入深さ	15.00 m	試験者	
水位	GL.-0.70 m	天候	雨	試験方法	機械式

荷重 Wsw (KN)	半回転数 Na	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1m当りの半回転数 (Nsw)	記事 音感・感触	記事 貫入状態	記事 推定土質	推定柱状図	荷重 Wsw(KN) 0 0.25 0.50 0.75 1	貫入量1m当りの半回転数 Nsw 50 100 150 200	換算N値 Nc※1	許容支持力 qa※2 (KN/m²)
1.00	44	0.25	25	176		打撃	粘性土				11.8	> 120
1.00	12	0.50	25	48	ガリガリ		砂質土				5.2	58.8
0.75	0	0.75	25	0			粘性土				2.2	22.5
1.00	0	1.00	25	0			粘性土				3.0	30.0
1.00	0	1.25	25	0			粘性土				3.0	30.0
0.50	0	1.50	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.50	0	1.75	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.75	0	2.00	25	0			粘性土				2.2	22.5
1.00	25	2.25	25	100			砂質土				8.7	90.0
1.00	33	2.50	25	132			砂質土				10.8	109.2
1.00	14	2.75	25	56			砂質土				5.7	63.6
1.00	11	3.00	25	44			砂質土				4.9	56.4
1.00	15	3.25	25	60			砂質土				6.0	66.0
1.00	6	3.50	25	24			砂質土				3.6	44.4
1.00	0	3.75	25	0			粘性土				3.0	30.0
1.00	1	4.00	25	4			粘性土				3.2	32.4
0.75	0	4.25	25	0			粘性土				2.2	22.5
1.00	1	4.50	25	4			粘性土				3.2	32.4
0.50	0	4.75	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.75	0	5.00	25	0			粘性土				2.2	22.5
0.50	0	5.25	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.50	0	5.50	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.75	0	5.75	25	0			粘性土				2.2	22.5
0.50	0	6.00	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.50	0	6.25	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.50	0	6.50	25	0			粘性土				1.5	15.0
1.00	0	6.75	25	0			粘性土				3.0	30.0
1.00	1	7.00	25	4			粘性土				3.2	32.4
1.00	1	7.25	25	4			粘性土				3.2	32.4
1.00	2	7.50	25	8			粘性土				3.4	34.8
0.50	0	7.75	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.50	0	8.00	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.50	0	8.25	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.50	0	8.50	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.50	0	8.75	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.50	0	9.00	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.50	0	9.25	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.50	0	9.50	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.50	0	9.75	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.50	0	10.00	25	0			粘性土				1.5	15.0

※1 Nc(粘性土) $= 3Wsw + 0.050Nsw$ Nc(砂質土) $= 2Wsw + 0.067Nsw$

※2 $qa(Na=0) = 30Wsw + 0.6Nsw$ $qa(Na>0) = 30 + 0.6Nsw$ (Nswは150を上限としています)

資料 試験結果

スウェーデン式サウンディング試験

物件名称	様邸				
調査場所	東京都板橋区:				
測点番号	1	調査年月日	2015年		
高低差	TBM ＋0.02 m	最終貫入深さ	15.00 m	試験者	
水位	GL.-0.70 m	天候	雨	試験方法	機械式

荷重 Wsw (KN)	半回転数 Na	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1m当りの半回転数 (Nsw)	記事 音感・感触	記事 貫入状態	記事 推定土質	推定柱状図	荷重 Wsw(KN) 0 0.25 0.50 0.75 1	貫入量1m当りの半回転数 Nsw 50 100 150 200	換算N値 Nc※1	許容支持力 qa※2 (KN/m²)
0.50	0	10.25	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.50	0	10.50	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.50	0	10.75	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.50	0	11.00	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.50	0	11.25	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.50	0	11.50	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.50	0	11.75	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.50	0	12.00	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.50	0	12.25	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.50	0	12.50	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.50	0	12.75	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.50	0	13.00	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.75	0	13.25	25	0			粘性土				2.2	22.5
0.75	0	13.50	25	0			粘性土				2.2	22.5
1.00	0	13.75	25	0		ストン	粘性土				3.0	30.0
1.00	0	14.00	25	0		ストン	粘性土				3.0	30.0
1.00	0	14.25	25	0			粘性土				3.0	30.0
1.00	0	14.50	25	0			粘性土				3.0	30.0
1.00	0	14.75	25	0			粘性土				3.0	30.0
1.00	0	15.00	25	0			粘性土				3.0	30.0

※1 Nc(粘性土) $= 3Wsw + 0.050Nsw$　Nc(砂質土) $= 2Wsw + 0.067Nsw$

※2 $qa(Na=0) = 30Wsw + 0.6Nsw$　$qa(Na>0) = 30 + 0.6Nsw$ (Nswは150を上限としています)

資料 **試験結果**

スウェーデン式サウンディング試験

物件名称	様邸				
調査場所	東京都板橋区;				
測点番号	2	調査年月日	2015年		
高低差	TBM　＋0.01 m	最終貫入深さ	10.00 m	試験者	
水位	GL.-0.50 m	天候	雨	試験方法	機械式

荷重 Wsw (KN)	半回転数 Na	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1m当りの半回転数 (Nsw)	記事 音感・感触	記事 貫入状態	記事 推定土質	推定柱状図	荷重 Wsw(KN) 0 0.25 0.50 0.75 1	貫入量1m当りの半回転数 Nsw 50 100 150 200	換算N値 Nc※1	許容支持力 qa※2 (KN/m²)
1.00	79	0.25	25	316		打撃	砂質土				23.1	> 120
1.00	65	0.50	25	260		打撃	砂質土				19.4	> 120
0.75	0	0.75	25	0			粘性土				2.2	22.5
1.00	0	1.00	25	0			粘性土				3.0	30.0
1.00	2	1.25	25	8			粘性土				3.4	34.8
0.75	0	1.50	25	0			粘性土				2.2	22.5
0.75	0	1.75	25	0			粘性土				2.2	22.5
0.75	0	2.00	25	0			粘性土				2.2	22.5
0.50	0	2.25	25	0			粘性土				1.5	15.0
1.00	39	2.50	25	156			砂質土				12.4	> 120
1.00	29	2.75	25	116			砂質土				9.7	99.6
1.00	15	3.00	25	60			砂質土				6.0	66.0
1.00	19	3.25	25	76			砂質土				7.0	75.6
1.00	7	3.50	25	28			砂質土				3.8	46.8
1.00	6	3.75	25	24			砂質土				3.6	44.4
1.00	4	4.00	25	16			砂質土				3.0	39.6
1.00	0	4.25	25	0			粘性土				3.0	30.0
1.00	5	4.50	25	20			粘性土				4.0	42.0
0.75	0	4.75	25	0			粘性土				2.2	22.5
0.75	0	5.00	25	0			粘性土				2.2	22.5
0.75	0	5.25	25	0			粘性土				2.2	22.5
0.75	0	5.50	25	0			粘性土				2.2	22.5
0.75	0	5.75	25	0			粘性土				2.2	22.5
1.00	0	6.00	25	0			粘性土				3.0	30.0
0.75	0	6.25	25	0			粘性土				2.2	22.5
0.75	0	6.50	25	0			粘性土				2.2	22.5
1.00	0	6.75	25	0			粘性土				3.0	30.0
1.00	4	7.00	25	16			粘性土				3.8	39.6
0.75	0	7.25	25	0			粘性土				2.2	22.5
1.00	4	7.50	25	16			粘性土				3.8	39.6
0.75	0	7.75	25	0			粘性土				2.2	22.5
0.75	0	8.00	25	0			粘性土				2.2	22.5
0.75	0	8.25	25	0			粘性土				2.2	22.5
0.75	0	8.50	25	0			粘性土				2.2	22.5
0.75	0	8.75	25	0			粘性土				2.2	22.5
0.75	0	9.00	25	0			粘性土				2.2	22.5
0.50	0	9.25	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.50	0	9.50	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.75	0	9.75	25	0			粘性土				2.2	22.5
0.75	0	10.00	25	0			粘性土				2.2	22.5

※1　Nc(粘性土) $= 3Wsw + 0.050Nsw$　Nc(砂質土) $= 2Wsw + 0.067Nsw$

※2　$qa(Na=0) = 30Wsw + 0.6Nsw$　$qa(Na>0) = 30 + 0.6Nsw$ (Nswは150を上限としています)

資料 試験結果

スウェーデン式サウンディング試験

物件名称	様邸				
調査場所	東京都板橋区				
測点番号	3	調査年月日	2015年		
高低差	TBM　＋0.13 m	最終貫入深さ	10.00 m	試験者	杉本　哲章
水位	不明	天候	雨	試験方法	機械式

荷重 Wsw (KN)	半回転数 Na	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1m当りの半回転数 (Nsw)	記事 音感・感触	記事 貫入状態	記事 推定土質	推定柱状図	荷重 Wsw(KN) 0 0.25 0.50 0.75 1	貫入量1m当りの半回転数 Nsw 50 100 150 200	換算N値 Nc※1	許容支持力 qa※2 (KN/m²)
1.00	71	0.25	25	284		打撃	砂質土				21.0	> 120
1.00	16	0.50	25	64			粘性土				6.2	68.4
1.00	17	0.75	25	68	ジャリジャリ		砂質土				6.5	70.8
1.00	5	1.00	25	20	ジャリジャリ		砂質土				3.3	42.0
1.00	0	1.25	25	0			粘性土				3.0	30.0
1.00	0	1.50	25	0			粘性土				3.0	30.0
1.00	0	1.75	25	0		ストン	粘性土				3.0	30.0
0.75	0	2.00	25	0			粘性土				2.2	22.5
1.00	13	2.25	25	52			砂質土				5.4	61.2
1.00	28	2.50	25	112			砂質土				9.5	97.2
1.00	29	2.75	25	116			砂質土				9.7	99.6
1.00	14	3.00	25	56			砂質土				5.7	63.6
1.00	23	3.25	25	92			砂質土				8.1	85.1
1.00	19	3.50	25	76			砂質土				7.0	75.6
1.00	0	3.75	25	0			粘性土				3.0	30.0
1.00	0	4.00	25	0			粘性土				3.0	30.0
1.00	0	4.25	25	0			粘性土				3.0	30.0
1.00	0	4.50	25	0			粘性土				3.0	30.0
0.75	0	4.75	25	0		ストン	粘性土				2.2	22.5
0.50	0	5.00	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.25	0	5.25	25	0			粘性土				0.7	7.5
0.50	0	5.50	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.50	0	5.75	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.75	0	6.00	25	0			粘性土				2.2	22.5
0.50	0	6.25	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.50	0	6.50	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.75	0	6.75	25	0			粘性土				2.2	22.5
0.75	0	7.00	25	0			粘性土				2.2	22.5
1.00	0	7.25	25	0			粘性土				3.0	30.0
1.00	0	7.50	25	0			粘性土				3.0	30.0
1.00	0	7.75	25	0			粘性土				3.0	30.0
0.50	0	8.00	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.50	0	8.25	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.50	0	8.50	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.50	0	8.75	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.50	0	9.00	25	0		ストン	粘性土				1.5	15.0
0.50	0	9.25	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.50	0	9.50	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.50	0	9.75	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.50	0	10.00	25	0			粘性土				1.5	15.0

※1　Nc(粘性土) $= 3Wsw + 0.050Nsw$　Nc(砂質土) $= 2Wsw + 0.067Nsw$

※2　$qa(Na=0) = 30Wsw + 0.6Nsw$　$qa(Na>0) = 30 + 0.6Nsw$ (Nswは150を上限としています)

資料 試験結果

スウェーデン式サウンディング試験

物件名称	様邸				
調査場所	東京都板橋区				
測点番号	4	調査年月日	2015年		
高低差	TBM ＋0.11 m	最終貫入深さ	10.02 m	試験者	
水位	GL.-0.70 m	天候	雨	試験方法	機械式

荷重 Wsw (KN)	半回転数 Na	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1m当りの半回転数 (Nsw)	記事 音感・感触	記事 貫入状態	記事 推定土質	推定柱状図	荷重 Wsw(KN) 0 0.25 0.50 0.75 1	貫入量1m当りの半回転数 Nsw 50 100 150 200	換算N値 Nc※1	許容支持力 qa※2 (KN/m²)
1.00	22	0.25	25	88			粘性土				7.4	82.8
1.00	7	0.50	25	28			粘性土				4.4	46.8
0.75	0	0.75	25	0			粘性土				2.2	22.5
0.75	0	1.00	25	0			粘性土				2.2	22.5
1.00	0	1.25	25	0			粘性土				3.0	30.0
1.00	0	1.50	25	0			粘性土				3.0	30.0
0.75	0	1.75	25	0			粘性土				2.2	22.5
0.75	0	2.00	25	0			粘性土				2.2	22.5
1.00	15	2.25	25	60			砂質土				6.0	66.0
1.00	28	2.50	25	112			砂質土				9.5	97.2
1.00	21	2.75	25	84			砂質土				7.6	80.4
1.00	9	3.00	25	36			砂質土				4.4	51.6
1.00	12	3.25	25	48			砂質土				5.2	58.8
1.00	13	3.50	25	52			砂質土				5.4	61.2
1.00	2	3.75	25	8			粘性土				3.4	34.8
1.00	2	4.00	25	8			粘性土				3.4	34.8
1.00	1	4.25	25	4			粘性土				3.2	32.4
1.00	0	4.50	25	0			粘性土				3.0	30.0
1.00	2	4.75	25	8			粘性土				3.4	34.8
0.75	0	5.00	25	0			粘性土				2.2	22.5
0.50	0	5.25	25	0		ストン	粘性土				1.5	15.0
0.50	0	5.50	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.75	0	5.75	25	0			粘性土				2.2	22.5
0.50	0	6.00	25	0		ストン	粘性土				1.5	15.0
0.50	0	6.25	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.50	0	6.50	25	0			粘性土				1.5	15.0
1.00	0	6.75	25	0			粘性土				3.0	30.0
1.00	0	7.00	25	0			粘性土				3.0	30.0
0.75	0	7.25	25	0			粘性土				2.2	22.5
1.00	2	7.50	25	8			粘性土				3.4	34.8
0.75	0	7.75	25	0			粘性土				2.2	22.5
0.50	0	8.00	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.50	0	8.25	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.50	0	8.50	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.50	0	8.75	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.50	0	9.00	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.50	0	9.25	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.50	0	9.50	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.50	0	9.75	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.50	0	10.00	25	0			粘性土				1.5	15.0

※1 Nc(粘性土) $= 3Wsw + 0.050Nsw$　Nc(砂質土) $= 2Wsw + 0.067Nsw$

※2 $qa(Na=0) = 30Wsw + 0.6Nsw$　$qa(Na>0) = 30 + 0.6Nsw$ (Nswは150を上限としています)

資料　試験結果

スウェーデン式サウンディング試験

物件名称	様邸				
調査場所	東京都板橋区舟渡２丁目３－４１				
測点番号	4	調査年月日	2015年03月09日		
高低差	TBM　＋0.11 m	最終貫入深さ	10.02 m	試験者	
水位	GL.-0.70 m	天候	雨	試験方法	機械式

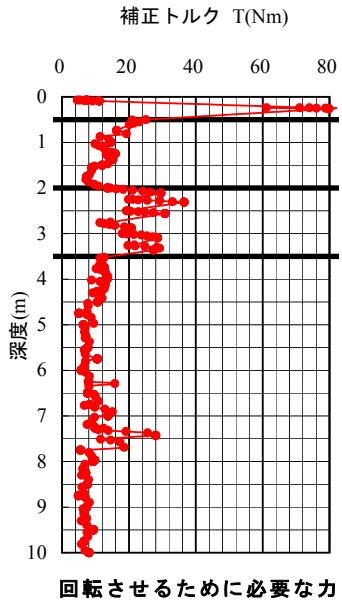
荷重 Wsw (KN)	半回転数 Na	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1m当りの半回転数 (Nsw)	記事 音感・感触	記事 貫入状態	記事 推定土質	推定柱状図	荷重 Wsw(KN) 0 0.25 0.50 0.75 1	貫入量1m当りの半回転数 Nsw 50 100 150 200	換算N値 Nc※1	許容支持力 qa※2 (KN/m²)
0.50	0	10.02	2	0			粘性土				1.5	15.0

※1　Nc(粘性土) $= 3Wsw + 0.050Nsw$　Nc(砂質土) $= 2Wsw + 0.067Nsw$

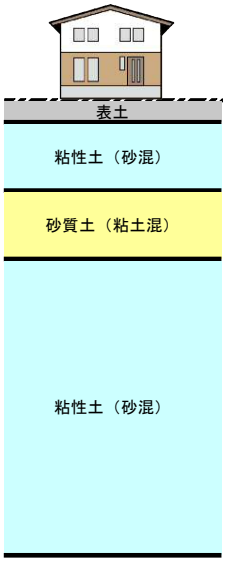
※2　$qa(Na=0) = 30Wsw + 0.6Nsw$　$qa(Na>0) = 30 + 0.6Nsw$ (Nswは150を上限としています)

資料　試験結果

SDS試験結果による土質区分					
物件名称	様邸				
調査場所	東京都板橋区				
測点番号	ＳＤＳ	高低差	TBM+0.09m	調査年月日	2015年



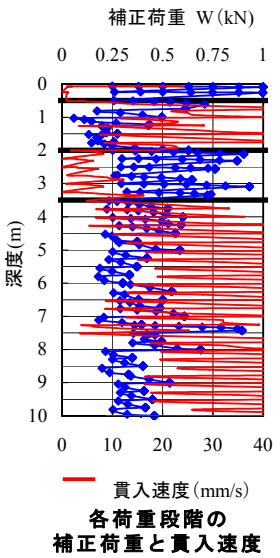
回転させるために必要な力



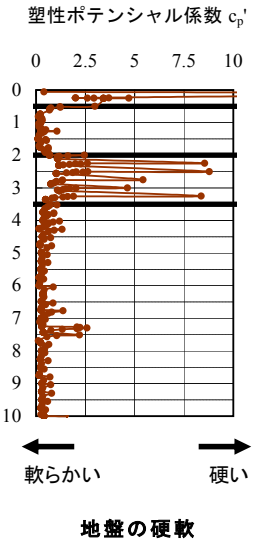
※SWS試験結果は考慮していません

SDS試験の主要パラメータ

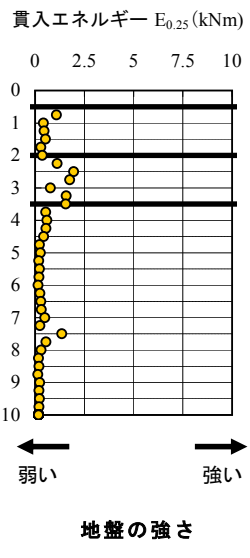
※以下のパラメータ等を用いて土質を推定しています



各荷重段階の
補正荷重と貫入速度



地盤の硬軟



地盤の強さ

資料　現場写真

敷地全景1

敷地全景2

前面道路

測点1

測点2

測点3

測点4

SDS

資料　現場写真

TBM

調査終了(敷地)

調査終了(道路)

スクリューポイント

水位測定